

5 - (2) 新規系統の来歴及び特性の概要

○ 関東160号 (令和4年度新規)

1. 来歴

- 1) 系統名 関東160号 (旧系統名 作系73)
- 2) 交配組合せ 関東145号 × アヤコマチ
- 3) 用途 青果用



ベニアズマ 関東160号 アヤコマチ

図 蒸しいもの断面

2. 特性の概要

1) 主な特性

萌芽性はやや良。いもの皮色は赤紫、肉色は黄橙である。いもの形状は楕円形で、大小は大である。条溝は少、裂開は微、皮脈は無で、外観は中である。上いも重は、マルチ早掘栽培とマルチ標準栽培ともに「ベニアズマ」より多収である。蒸しいもの肉色は淡黄橙～淡橙で、肉質はやや粉、黒変は少～やや少、食味は中～やや上である。病虫害抵抗性は、ネコブセンチュウにやや強～強、立枯病およびつる割病にやや弱である。貯蔵性は中である。橙肉系かんしょは肉質が粘質になりやすい傾向があるが、本系統の肉質はやや粉である。本系統は、多収であり、いもの肉色と肉質に特徴があることから、青果用かんしょとして有望である。

2) 育成地における栽培試験成績 (令和3年度)

① マルチ標準栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東160号	430	147	283	3.8	34.7	中	赤紫	楕円	淡橙	やや粉	20.4	少	中～やや上
標) ベニアズマ	292	100	270	2.7	35.0	中	紫赤	長方形	黄	やや粉	19.6	やや多	中～やや上
比) アヤコマチ	293	100	187	3.9	28.8	中	赤	楕円	橙	粘	19.6	少	中～やや上

② マルチ早掘栽培の収量品質調査成績

品種・系統名	上いも重 (kg/a)	対標準比 (%)	上いも1個重 (g)	1株上いも数	切干歩合 (%)	いも			蒸しいも				
						外観	皮色	形状	肉色	肉質	Brix	黒変	食味
関東160号	302	134	185	4.1	34.0	中	赤紫	楕円	淡黄橙	やや粉	21.1	やや少	やや上
標) ベニアズマ	225	100	180	3.2	34.2	中	紫赤	長方形	黄	やや粉	17.2	やや多	やや上
比) アヤコマチ	202	90	133	3.8	29.7	中	赤紫	楕円	淡橙	やや粘	16.0	中	中

③ 萌芽性、貯蔵性および病虫害抵抗性

品種・系統名	育成地		病虫害抵抗性 (育成地)			
	萌芽性	貯蔵性 (R2)	ネコブセンチュウ		立枯病 (香取)	つる割病
			場内 (谷和原)	現地 (香取)		
関東160号	やや良	中	やや強	強	やや弱	やや弱
標) ベニアズマ	やや不良	難	中	中	やや強	やや弱
比) アヤコマチ	中～やや良	中	強	やや強	やや弱	やや強